

# 【生活行為向上マネジメント・推進プロジェクト】

## 生活行為向上マネジメントの効果的啓発普及推進システムの構築

### 推進委員(都道府県士会)の設置

#### 【機能と役割】

生活行為向上マネジメントを会員に啓発普及し、協会と連携を図り、士会における生活行為向上支援に関するリーダーとして活動を行う

主な業務:

- (1)会員への生活行為向上マネジメントの普及啓発
- (2)協会及び士会との連携
- (3)地域包括ケア等の地域状況の情報収集分析

<具体的活動内容と頻度>

- ・推進会議への出席(年1回)
- ・協会からの情報の会員への周知

### 熟練者(指導者)

#### 【機能と役割】

生活行為向上マネジメントを実践し、研修会講師や他職種への普及、地域包括ケアの推進に協力。

主な業務:

- (1)生活行為向上マネジメントの実践と指導
- (2)生活行為向上マネジメントの研修会講師
- (3)推進委員の補佐

<具体的活動内容と頻度>

- ・研修会講師 ・公的事業参加
- ・臨床データの蓄積 ・後輩指導

目的: 地域における作業療法の機能と役割を明確にし、地域ケア会議等に参加するなど、地域包括ケアに的確かつ効果的に貢献できる人材を養成する。

### 生活行為向上マネジメント・熟練者



### 認定審査

外部審査:

公開地域ケア会議などを実践し、資質について面接審査を行う。



### 事例審査

内部審査:

地域の資源を活用し、在宅生活等の支援技術を活用しているかを審査する。



### 事例介入・事例登録



協会・都道府県士会で開催される生活行為向上マネジメント研修会

## 生活行為向上マネジメント研修

目的: 作業療法士協会では、地域包括ケアに貢献できる、具体的には地域ケア会議で適切な助言ができる、社会参加に向け自立支援に資するアプローチができる作業療法士の養成を目的に、下記の生活行為向上マネジメント研修を開催している。

生活行為向上マネジメントは、対象者が継続したいと思っている生活行為に焦点を当て、医療機関に入院した時から在宅生活を見据え、介護支援専門員への退院後の申し送り、通所系事業所、訪問系事業所では、ADL/IADL、社会参加に向け、作業療法士の一定の質を担保できるためのツールとして開発したものである。

このツールを活用することで、多職種との連携の必要性、24時間365日営まれる人の生活を理解し、必要な支援の課題を明らかにすることができる。その視点を作業療法士が持つことで、「人は作業・生活行為をすることで元気になれる」地域づくりを対象者やそれを支援する人々と共に目指すものである

取り組み:

- (1) 一般社団法人 日本作業療法士協会が開催する研修の他、各都道府県士会単位でも開催することで年間500名の作業療法士にツールの活用方法について周知する。
- (2) 研修を受けたもので、実際の実践事例を提出し、審査を受け、合格することで、今後の研修の講師を務め地域包括ケアに関与する上で市町村、都道府県に推薦できる者(熟練者と呼ぶ)として協会に登録することとしている。

## 『研修プログラム』

<b>テーマ1</b>	<b>生活行為向上マネジメント概論</b>
研修時間	90分
内 容	1. 生活行為向上マネジメントの背景(国の動向と保健医療福祉従事者の役割) 2. 生活行為向上マネジメントとは(簡単なシート説明も含む) 3. これまでの研究成果
<b>テーマ2</b>	<b>生活行為向上マネジメント演習1</b>
研修時間	330分
内 容	1. 演習事例紹介(30分) 2. グループワーク(演習シートを用いた書き込み演習) (1)生活行為聞き取り演習(30分) (2)生活行為アセスメント演習シートを活用したアセスメント演習(150分) ・アウトカム指標活用方法 ・ICF ・アセスメント演習シート書き込み演習 (3)生活行為向上プラン演習シートを活用したプラン演習(90分) ・プランの立て方 ・プラン演習シート書き込み練習 ※グループワークでは、まず司会者と記録者の順番を決める。講義と実践を交互に入れながら理解を深める。「聞き取りシート」についての講義後、実際の事例を通して個人作業を行った後、グループで話し合い、グループでシートを完成させる。アセスメントでは、アウトカム指標の活用方法、特にICFについて丁寧に説明後、実際の事例について個人作業で書き込んでみる。その後、グループで再度1枚のアセスメントシートを記入し、グループ数にもよるが時間の許す限り、発表をする。プランも同様のプロセスを実践する。 (4)申し送りシート書き込み方法と活用方法の説明(30分)(ケアプランとの連携)
<b>テーマ3</b>	<b>生活行為向上マネジメント事例報告登録方法</b>
研修時間	60分
内 容	1. 事例報告登録の目的 2. 事例報告登録の方法 3. 添付書類について
<b>テーマ4</b>	<b>生活行為向上マネジメント事例検討会</b>
研修時間	90分～360分
内 容	1. 事例検討(質疑・応答・助言を含む)